



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社モリタホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6455 URL https://www.morita119.com
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 尾形 和美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 金岡 真一 (TEL) 06-6208-1915
 経理・情報管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	51,804	△4.4	3,744	△3.4	4,068	△6.4	3,571	40.5
2019年3月期第3四半期	54,201	7.8	3,876	4.0	4,348	4.0	2,541	△1.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,623百万円(31.1%) 2019年3月期第3四半期 2,001百万円(△53.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第3四半期	円 銭 78.86	円 銭 —
2019年3月期第3四半期	56.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第3四半期	百万円 114,878	百万円 68,691	% 58.8
2019年3月期	117,218	67,607	56.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 67,578百万円 2019年3月期 66,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 34.00
2020年3月期	—	19.00	—		
2020年3月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	△3.9	9,200	△3.0	9,600	△5.0	7,300	14.2	161.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	46,918,542株	2019年3月期	46,918,542株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,588,814株	2019年3月期	1,682,601株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	45,282,893株	2019年3月期3Q	45,236,634株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等による世界経済の不安定化などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは新たに策定いたしました中期経営計画「Morita Reborn 2025」の初年度として、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は51,804百万円（前年同四半期比2,396百万円減、4.4%減）、営業利益は3,744百万円（前年同四半期比132百万円減、3.4%減）、経常利益は4,068百万円（前年同四半期比279百万円減、6.4%減）となりましたが、旧東京本社売却による固定資産売却益を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,571百万円（前年同四半期比1,029百万円増、40.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①消防車輛

消防車輛事業は、海外売上が堅調に推移する一方、国内の出荷台数が低調であったことから、売上高は28,980百万円(前年同四半期比1.8%減)となりました。

②防災

防災事業は、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の売上が低調であったことから、売上高は11,797百万円(前年同四半期比17.4%減)となりました。

③産業機械

産業機械事業は、製品の販売が堅調に推移したことから、売上高は3,575百万円(前年同四半期比16.0%増)となりました。

④環境車輛

環境車輛事業は、製品の出荷が堅調に推移したことから、売上高は7,451百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。

当社グループの売上高及び利益は、消防車輛事業の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、第4四半期に集中する傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当第3四半期連結会計期間の総資産は114,878百万円（前連結会計年度末比2,339百万円の減少）となりました。

流動資産は、61,811百万円となり533百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,864百万円、受取手形及び売掛金が9,756百万円減少した一方で、たな卸資産が10,152百万円増加したことによるものです。

固定資産は、53,067百万円となり1,806百万円減少しました。うち有形固定資産は、34,007百万円となり574百万円減少し、無形固定資産は、3,501百万円となり749百万円減少し、投資その他の資産は、15,558百万円となり482百万円減少しました。

流動負債は、29,722百万円となり3,468百万円減少しました。これは主に、電子記録債務が1,314百万円、未払法人税等が2,014百万円減少したことによるものです。

固定負債は、16,464百万円となり45百万円増加しました。

純資産は、68,691百万円となり1,083百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上3,571百万円の一部で、剰余金の配当1,720百万円及び為替換算調整勘定が726百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.8%から58.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,960百万円減少の11,222百万円となりました。なお、当四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、475百万円の支出（前年同四半期は381百万円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産除売却損益1,564百万円の計上、たな卸資産の増加額10,731百万円、法人税等の支払額3,826百万円で資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益5,433百万円の計上、売上債権の減少額9,732百万円で資金が増加したことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,366百万円の収入（前年同四半期は1,310百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入2,948百万円の方で、有形固定資産の取得による支出1,194百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,861百万円の支出（前年同四半期は399百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額630百万円、長期借入金の返済による支出408百万円、配当金の支払額1,705百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、現時点では、2019年5月24日に公表いたしました業績予想と変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,326	11,462
受取手形及び売掛金	28,181	18,424
電子記録債権	1,599	1,633
商品及び製品	4,651	4,910
仕掛品	6,431	14,615
原材料及び貯蔵品	6,498	8,207
その他	1,925	2,812
貸倒引当金	△269	△255
流動資産合計	62,344	61,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,272	10,657
機械装置及び運搬具（純額）	3,398	2,969
土地	19,564	18,741
建設仮勘定	36	635
その他（純額）	308	1,004
有形固定資産合計	34,581	34,007
無形固定資産		
のれん	3,103	2,577
その他	1,148	924
無形固定資産合計	4,251	3,501
投資その他の資産		
投資有価証券	11,473	10,980
退職給付に係る資産	1,110	1,123
その他	4,010	4,011
貸倒引当金	△553	△557
投資その他の資産合計	16,040	15,558
固定資産合計	54,873	53,067
資産合計	117,218	114,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,078	11,527
電子記録債務	10,688	9,374
短期借入金	1,124	439
1年内返済予定の長期借入金	816	816
未払法人税等	2,596	581
賞与引当金	1,235	620
役員賞与引当金	162	104
製品保証引当金	488	428
その他	6,000	5,829
流動負債合計	33,191	29,722
固定負債		
長期借入金	7,948	7,540
退職給付に係る負債	3,790	3,823
役員退職慰労引当金	136	16
その他	4,542	5,084
固定負債合計	16,418	16,464
負債合計	49,610	46,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	4,331	4,429
利益剰余金	57,782	59,667
自己株式	△1,502	△1,417
株主資本合計	65,357	67,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,283	3,995
繰延ヘッジ損益	△1	5
土地再評価差額金	△2,656	△2,691
為替換算調整勘定	△212	△939
退職給付に係る調整累計額	△230	△218
その他の包括利益累計額合計	1,181	152
非支配株主持分	1,068	1,112
純資産合計	67,607	68,691
負債純資産合計	117,218	114,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	54,201	51,804
売上原価	39,911	37,882
売上総利益	14,289	13,922
販売費及び一般管理費	10,413	10,177
営業利益	3,876	3,744
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	133	137
受取賃貸料	63	62
持分法による投資利益	182	110
その他	252	150
営業外収益合計	638	465
営業外費用		
支払利息	52	48
賃貸費用	7	7
為替差損	36	22
その他	70	62
営業外費用合計	166	141
経常利益	4,348	4,068
特別利益		
固定資産売却益	6	1,924
退職給付制度改定益	5	—
特別利益合計	11	1,924
特別損失		
固定資産除売却損	2	360
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	1	—
会員権売却損	—	8
子会社移転費用	65	—
災害損失引当金繰入額	19	—
災害による損失	—	190
特別損失合計	88	559
税金等調整前四半期純利益	4,271	5,433
法人税等	1,666	1,824
四半期純利益	2,604	3,609
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,541	3,571

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,604	3,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△400	△278
繰延ヘッジ損益	6	7
為替換算調整勘定	△223	△651
退職給付に係る調整額	73	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△59	△74
その他の包括利益合計	△603	△985
四半期包括利益	2,001	2,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,944	2,577
非支配株主に係る四半期包括利益	57	46

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,271	5,433
減価償却費	1,580	1,575
のれん償却額	343	321
貸倒引当金の増減額(△は減少)	127	8
受取利息及び受取配当金	△139	△142
支払利息	52	48
持分法による投資損益(△は益)	△182	△110
有形固定資産除売却損益(△は益)	△4	△1,564
災害による損失	—	190
売上債権の増減額(△は増加)	9,756	9,732
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,737	△10,731
仕入債務の増減額(△は減少)	471	130
その他	△1,354	△1,645
小計	3,183	3,247
利息及び配当金の受取額	140	144
利息の支払額	△42	△41
法人税等の支払額	△2,900	△3,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	381	△475
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,115	△1,194
有形固定資産の売却による収入	8	2,948
有形固定資産の除却による支出	△0	△355
無形固定資産の取得による支出	△69	△78
関係会社株式の売却による収入	—	82
貸付けによる支出	△32	△100
貸付金の回収による収入	13	101
その他	△112	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,310	1,366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,442	△630
長期借入金の返済による支出	△527	△408
配当金の支払額	△1,305	△1,705
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△5	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△399	△2,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,347	△1,960
現金及び現金同等物の期首残高	9,172	13,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,824	11,222

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

なお、この適用による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響額については、軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
外部顧客への売上高	29,510	14,291	3,081	7,318	54,201
セグメント間の内部売上高又は振替高	310	186	1	134	632
計	29,821	14,477	3,082	7,452	54,833
セグメント利益	2,412	850	229	449	3,942

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,942
セグメント間取引消去	6
棚卸資産の調整額	△72
四半期連結損益計算書の営業利益	3,876

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
外部顧客への売上高	28,980	11,797	3,575	7,451	51,804
セグメント間の内部売上高又は振替高	95	206	2	93	398
計	29,076	12,004	3,577	7,544	52,202
セグメント利益	2,470	403	312	532	3,718

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,718
セグメント間取引消去	7
棚卸資産の調整額	18
四半期連結損益計算書の営業利益	3,744

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	28,993	△4.0
防災	11,047	△21.1
産業機械	3,965	+12.4
環境車輛	8,145	+2.8
合計	52,152	△6.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	44,105	△4.4	27,585	△8.7
防災	6,564	△20.4	5,710	△0.5
産業機械	3,678	△0.7	2,997	△2.4
環境車輛	7,890	△11.1	5,184	△5.0
合計	62,238	△7.1	41,478	△6.7

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 防災事業の防災機器部門は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

3 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	28,980	△1.8
防災	11,797	△17.4
産業機械	3,575	+16.0
環境車輛	7,451	+1.8
合計	51,804	△4.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。